１２月２８日　　テーマ：最も小さい者さえも

聖書箇所：コリント人への手紙第一１５章９～１０節

◆今日のみことば

　ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは、むだにはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。　　コリント人への手紙第一１５章１０節

◆メッセージ

　今日の聖書の言葉はパウロさんの言葉です。パウロさんはユダヤ人以外の人に神さまのことを伝える大きな働きをした人です。この人の働きによって神さまの言葉が世界各地に広がっていきました。

　そのような働きをしたパウロさんですが、元の名前を「サウロ」といい、その名前の時はイエスさまの教えを信じる人たちを捕まえて牢屋に入れていました。ところが、ダマスコという町に行く途中でイエスさまの幻に出会ってからは、180度変わって熱心にイエスさまの教えを伝えるようになりました。その後、イエスさまがお選びになった12人のお弟子さんと同じように「使徒」と呼ばれるようになったのですが、パウロさん自身は以前の自分をわかっているので、「自分は使徒と呼ばれる価値のない者です」とはっきり言っています。しかし、自分は最も小さい者だけれど、神さまの恵みによって変えられて、神さまの恵みによって大きな働きをさせていただいた、と神さまをほめたたえています。パウロさんにとっては自分がどうであるかということは問題ではなく、神さまの恵みによって、神さまのお働きがますます広がっていくことが一番大切だったのです。

　私たちも小さな者ですが、パウロさんと同じように神さまの恵みによって生かされています。そして、神さまの恵みによって私たちも神さまのために大きな働きができるのです。自分がどうであるかを気にすることはありません。ただ、神さまの恵みをしっかりとうけとめながら歩んでいきましょう。

◆お祈り

「いつもかみさまのめぐみをわすれないで、かみさまのみささえとおみちびきをしんじて　あゆめますように。」

（倉敷めぐみキリスト教会牧師　高山正治）